

第三十九回 帝國議會 貴族院議事速記録第八號

帝國議會

大正六年七月十三日(金曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第八號 大正六年七月十三日

午前十時開議

第一 製鐵業獎勵法案兩院協議委員ノ選舉

第二 軍人恩給法中改正法律案(政府提出、衆)

第三 軍事救護法案(政府提出、衆)

第四 電話事業公債法案(政府提出、衆)

第五 東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府  
支出金ニ關スル法律案(政府提出、衆)

第六 京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル  
法律案(政府提出、衆)

第七 學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一  
般會計ニ繰入ル件ニ關スル法律案(議院送付)

第八 農業倉庫業法案(政府提出、衆)

第九 戰時海上再保險法案(政府提出、衆)

第十 造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案  
(政府提出、衆)

第十一 東洋拓殖株式會社法中改正法律案(政  
院送付)

第十二 糜絲業法中改正法律案(政府提出、衆)

第十三 所得稅法中改正法律案(衆議院提出)

第一 読會ノ續(委員長) 第一 読會ノ續(委員長)  
第一 読會ノ續(報告) 第一 読會ノ續(報告)  
第一 読會ノ續(委員長) 第一 読會ノ續(委員長)  
第一 読會ノ續(報告) 第一 読會ノ續(報告)

第一 読會ノ續(委員長) 第一 読會ノ續(委員長)  
第一 読會ノ續(報告) 第一 読會ノ續(報告)  
第一 読會ノ續(委員長) 第一 読會ノ續(委員長)  
第一 読會ノ續(報告) 第一 読會ノ續(報告)

製鐵業獎勵法案  
同日内閣總理大臣ヨリ七月十四日迄一日間帝國議會會期ノ延長ヲ命スル旨  
ノ詔書ヲ傳達セラレタリ  
同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 男爵内田 正敏君  
製鐵業獎勵法案特別委員會  
委員長 松岡 康毅君 副委員長 子爵井上 匡四郎君

東洋拓殖株式會社法中改正法律案特別委員會  
委員長 伯爵正親町 實正君 副委員長 柴田 家門君

借入鐵道及輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 子爵秋月 種英君 副委員長 男爵若王子文健君

大正四年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外二件特別委員會  
委員長 伯爵清閑寺 經房君 副委員長 子爵八條 隆正君

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正  
ニ同意セサルコトニ決議シタル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又

同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

昨十二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決  
ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案

大正二年法律第九號中改正法律案

輕便鐵道補助法中改正法律案

大正五年法律第四號中改正法律案

朝鮮事業公債法中改正法律案

臨時國庫證券法案

朝鮮鐵道用品資金會計法廢止法律案

日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セ  
リ

製鐵業獎勵法案

同日內閣總理大臣ヨリ七月十四日迄一日間帝國議會會期ノ延長ヲ命スル旨  
ノ詔書ヲ傳達セラレタリ

造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 男爵内田 正敏君

製鐵業獎勵法案特別委員會

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正  
ニ同意セサルコトニ決議シタル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又

同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

○議長(公爵徳川家達君) 本日モ諸般ノ報告ハ省略イタシマシテ御異存ゴザ  
イマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

## 製鐵業獎勵法案

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

職時海上再保險法案可決報告書

電話事業公債法案可決報告書

造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案可決報告書

製鐵業獎勵法案修正報告書

東洋拓殖株式會社法中改正法律案可決報告書

借入鐵道及輕便鐵道ノ買收ニ關スル法律案可決報告書

大正四年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正四年度特別會計豫備

金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正四年度大正三年臨時事件豫備費支出

ノ件(承諾ヲ求ムル件)可決報告書

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

工業所有權戰時法案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

爆發物取締罰則廢止法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、製

鐵業獎勵法案兩院協議委員ノ選舉

○一木喜徳郎君 協議委員ノ選定ハ議長ニ御一任申上ゲタイト存ジマス

○男爵村木雅美君 贊成

○男爵内田正敏君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 一木君ノ協議委員ノ選定ヲ議長ニ委託スルノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、協議委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

製鐵業獎勵法案兩院協議委員

侯爵細川 護立君 松岡 康毅君 子爵井上 匡四郎君

男爵久保田 譲君 男爵村上 敬次郎君 一木喜徳郎君

小松謙次郎君 藤田四郎君 豊川良平君

廣瀬満正君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、軍人恩給法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

軍人恩給法中改正法律案 右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十一日

右特別委員長

侯爵細川 護立

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 軍人恩給法中改正法律案ヲ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ提出ノ理由並ニ内容ニ付キマシテハ既ニ本月ノ八

日本議場ニ於テ當局大臣ノ説明ガゴザイマシタシ、又請願ニ法律案ニ數年來、

諸君ノ御承知ノコトト存ジマシテ、茲ニハ之ヲ省略イタシマス、御承知ノ通

リニ本案ハ衆議院ニ於キマシテ二三ノ修正ガ加ヘラレタノデゴザイマス、其

大要ヲ申述ペマスレバ、第一ニハ免除恩給及退職恩給ニ關シマシテ、政府案

ニハ大正十年ヨリ之ヲ支給スルト云フコトニナッテ居タノデゴザイマスルノ

ヲ、衆議院ニ於キマシテ大正八年ニ繰上ゲテ之ヲ支給スルト云フコトニ修正

ニナッタノデゴザイマス、而シテ之ニ付キマシテ金額ニ於キマシテハ、大正八

年度ニ於テ約二十萬千二百餘圓、大正九年度ニ於キマシテ三十九萬六千餘圓、

即チ合計イタシマシテ約六十萬圓ノ増加デゴザイマス、第二ノ點ハ第十條ノ

第一號、第十四條ノ第一號、第二十七條ノ第一號ニ於キマシテ、政府案ニハ

「戰鬪ノ爲トゴザイマスノヲ、衆議院ニ於テ「戰鬪又ハ戰鬪ニ準スヘキ公務

ニ因リ」ト云フコトニ改マッタノデゴザイマス、而シテ戰鬪ニ準ズベキ公務ノ

範圍ヲ決定イタシマスル爲ニ、第二十七條ノ二ガ附加ヘラレマシタノデゴザ

イマス、從ツテ委員會ニ於キマシテモ質問ノ重モナル點ハ總テ此點ニ注ガレタ

ノデゴザイマス、唯第一ノ點即チ繰上ゲテ支給スルト云フ點ニ於キマシテハ

既ニ當局ノ同意ガアッタト云フコトデアリマシテ、何等ノ異議モ無カッタノデ  
アリマスルガ、第二ノ點ニ於テハ可ナリ多クノ質問ガアッタノデゴザイマス、  
最初ハ政府當局ニ於キマシテハ隨分戰鬪ニ準ズベキ公務ト云フコトノ實際ノ  
取扱上ニ關シマシテ、是ガ調査ヲ爲シ或ハ區別ヲスル時ニ非常ナ困難ガアリ  
マシテ、或ハ實行ガ不可能ニ陥リハシナイカト云フ意見デアリマシタ、併シ  
質問應答ヲ重ネ或ハ懇談ヲ致シマシタル結果、遂ニハ政府ニ於キマシテモ此  
衆議院ノ修正案通リニ可決サレマシテモ何等取扱上差支ナキヲ期スルト云フ  
明答ヲ得タノデゴザイマス、從ツテ委員會ニ於キマシテモ其後何等ノ異議モナ  
ク可決ヲ致シタル次第デゴザイマス、此段御報告申シマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請

ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君） 過半數ト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○小野田元熙君 贊成

○議長（公爵徳川家達君） 細川侯爵ノ本案ノ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ動  
議ニ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマ  
ス、全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○小野田元熙君 贊成

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通リデ御  
異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第三、軍事救護法案、政府提出、衆議院送付、  
第一讀會ノ續、委員長報告

軍事救護法案

大正六年七月十一日

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

右特別委員長

侯爵細川 護立

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 軍事救護法案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上  
ゲマス、委員會ハ九日及十日ノ兩日ニ之ヲ開キマシタ、本案ノ要旨ハ傷病  
兵、其家族若クハ遺族、又ハ下士卒ノ家族若クハ遺族ニシテ生計困難ナル者  
ヲ救護スルト云フノデゴザイマス、而シテ委員會ニ於キマシテモ詳細ニ是ガ  
説明ヲ承ハッタノデゴザイマス、之ニ付キマシテ幾多ノ質問ガゴザイマスガ、  
一二ヲ申上ゲマスルト、第一ハ公私團體トノ關係デゴザイマス、是ハ本議場ニ  
於キマシテモ既ニ御質問ガアッタヤウニ心得テ居リマスガ、之ニ付キマシテ

ハ政府ハ尙ホ考慮中デアッテ、而シテ之ニ付テハ最善ノ方法ヲ執ッテ、惡イ影響  
ノナイヤウニスルト云フ答辯デアリマシタ、而シテ現在斯ル團體ヨリ救護サ  
レテ居ル者ニ付テハ如何デアルカト云フ質問ニ對シマシテハ、其救護ニ於テ  
マシテ、其命令ノ内容ハドウ云フ風ニ決定スルカト云フ質問ガゴザイマシタ、  
ソレニ付キマシテハ當局ヨリ命令ヲ以テ規定スベキ範圍ノ事項ヲ示サレタノ  
デアリマス、尙ホ生業扶助及現金給與ヲ受クベキ戸數、人員並ニ金額等ニ付  
キマシテモ詳細ナル表ヲ示サレマシテ、尙ホ其他ニモ参考ノ材料ヲ示サレタ  
ノデゴザイマスルケレドモ、是等ハ總テ數字ニ關係ヲ致シテ居リマスルカラ

茲ニ之ヲ省略イタシマス、委員會ニ於キマシテハ尙ホ二三ノ質問ノ後何等ノ異議モナク本案ヲ可決シタ次第ゴザイマス、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○山脇玄君 ナヨット委員長ニ御尋ネ致シタインデアリマスガ、此命令ヲ以テ規定シマスト云フコトニナリマスルト、略々金額ノ豫算ハ分ツテ居ルコトト思ヒマスガ、大抵唯今ノ御調ペノ所デハドレ程ノ金額ニナルコトニナッテ居リマスカ

○侯爵細川護立君 其金額ニ付キマシテハ詳シイ表ヲ受取ッタノデゴザイマス、而シテ私カラ申上ゲテモ宜シイノデゴザイマスガ、政府委員ノ御出席ガゴザイマスレバ政府委員カラ御答辯ヲ願ヒマス

○山脇玄君 別ニ詳シイコトニ及バヌノデス、大體幾ラグラキニナルト云フ所ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○侯爵細川護立君 生業扶助及現金給與ニ付キマシテ、戸數ニ於テ七千九百一戸、人員ニ於テ三萬二千三百六十四人、金額ニ於キマシテ八十九萬五千六百五十四圓、斯ウ云フ數ニナリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ讀會ノ間ノ定規ノ日數ヲ經ルノデゴザイマスカ

○侯爵細川護立君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○小野田元熙君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ

ヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○侯爵細川護立君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○小野田元熙君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス  
御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、電話事業公債法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 電話事業公債法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十二日

右特別委員長

伯爵寺 島誠一郎

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 日程第四、電話事業公債法案ニ關スル特別委員會ノ報

告ヲ申上ゲマス、特別委員會デハ之ヲ可決イタシマシタノデアリマシテ、唯今其經過ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、委員會ハ三回開會イタシマシタ、デ委員會成立後直チニ大藏大臣、遞信大臣、其他ノ政府委員諸君ヨリ説明ヲ伺ヒ

マシテ、之ニ付テ種々ノ質問ガアリマシテ、ソレニ對シテ當局ヨリ御答辯ガアリマシタ、其中ニハ満足スペキモノモゴザイマシタシ、又稍々物足リナイヤウナ點モアツタノデゴザイマス、此案ハ電話交換擴張ノ爲ニ八箇年ニ亘リマシテ金一億二百五十萬ト申シマス巨額ノ公債ヲ募集スルコトヲ主眼ト致シテ居ル案デアリマス、ソレデ唯今豫算委員ニ於テ御審査中ノ豫算其モノト密接ノ關係ヲ持ツテ居ル案ナノデアリマス、サウシテ又此案其モノニ付テ詳シク申上ゲマスレバ、電話事業擴張案デアリ、又目的ニ公債計畫ノ一部ヲ擔ウテ居ル

案デアリマス、ソコデ委員會ニ於テ質問ノ重ナモノノ二三ヲ申上ゲテミタイト存ジマス、質問ノ中デ最モ必要ト思ヒマシタモノハ、此案其モノハ將來ノ財政計畫ニ不良ナ結果ヲ來シハシナイカ、又將來國家必要ノ支辨ニ應ズル爲ニ公債募集等已ムヲ得ヌコトノアツタ時ニ、此電話公債募集ノアルガ爲ニ經濟界ニ惡キ影響ヲ及ボシテ、其計畫ヲ遂行スルコトニ差支ヲ來シハシナイカ、斯ウ云フヤウナ御尋ガアツタノニアリマス、政府ハ之ニ對シテ具體的ニ數字ヲ掲ゲテ計畫等ハ示サレナカッタノニアリマスガ、併シ大體ニ於テ將來ノ財政計畫又是ガ爲ニ經濟界ニ不良ナ影響ヲ及ボスコトハナイト云フ御答辯デアツタノニアリマス、又此電話制度ニ付キマシテハ、政府ノ取締ガ甚ダ寛大ニ失シテ居リハシナイカ、又加入者ノ側カラ見マシテ甚ダ電話使用ト云フコトニ付テハ放漫ニ流レテ居ルヤウナコトガアルガ、之ヲ何トカ云フ方法ヲ設ケテ制裁ヲ加ヘルコトハ出來ヌモノデアラウカト云フ御間ガアツタノニアリマス、之ニ對シテ政府ハ決シテ打捨置ク次第デハナイ、段々機械ヲ改良シ舊式ノ物ヲ新式ノ物ニ取換ヘテ行、テ遂ニハ度數制ヲ採用シテ、幾分ナリトモ其濫用ヲ防ギ、電話ノ使用ヲ社會的最モ有益ナモノニスルヤウニ盡力シタイト云フコトデアツタノニアリマス、又此案ニ掲ゲテアリマスル所ノ大計畫ガ實行サレル曉ニハ、電話ノ事業ト云フモノハ社會ニ行渡ルヤウニナルデアラウカト云フ御質問モアリマシタ、又唯今申上グタ度數制ト云フコトニ付テハ、政府ハ斷然決心ヲシテ、此度數制ヲ採用スルコトニスル積リデアルカ、遞信大臣ハ之ニ對シテ御答ニナリマシタノハ此度數制ヲ採用スルト云フコトハ誠ニ必要ニ迫リテ居ルコトナノデアル、併ナガラ此度數制ヲ採用スルト云フコトニ主眼トスル所ハ決シテ料金ノ增收ヲ目的トシテ居ルノデハナイ、料金ノ增收ハ必要ニ複雜ナル準備、又諸般ノ設備ガ要ルノデアルカラシテ、其完成次第ニ度數制ヲ行フ決心デアルト云フ御答辯デアツタノニアリマス、又或ハ委員ヨリ前年度數制制定ノヤウナ模様ガ、其一端ヲ豫算ニ現ハシテ、衆議院ノ會議ニ上ツタ時ニ、衆議院ニ對シテ贊成ノ意ヲ表サナカッタヤウデアルガ、愈々、今度政府ハ決心シテ、或ル時機ニ於テ度數制ヲ行ハムトスルガ、其際ニ加入者ナリ又ハ衆議院ノ方カラデモ反対ヲ來スヤウナコトハアルマイカ、決行ニ妨ゲニナルヤウナコトハアルマイカト云フ御尋ガアツタノニアリマスガ、

之ニ對シテ遞信大臣ハ確乎タル信念ヲ有ツテ居ラレテ、決シテ加入者ヨリ妨害ヲ與ヘラレルトカ、又一般カラ其制度ニ對シテ妨ヲ與ヘルトカ云フヤウナコトハナイ、是ハ決行スルコトガ出來ルト云フ御答辯デゴザイマシタ、備此公債法案ハ先程申上ゲマシタ通リニ分ケテ、一ハ電話事業ト云フ方カラ見マス、又公債計畫ト申ス方ノ側カラ見マシテ、政府カラ聽取ツタ所ノ大體ヲ申上げマスト斯ウ云フコトニナルノニアリマス、第一電話事業ト申ス側カラ見マスルト、現在電話加入申込ノ停滯シテ居ルノガ十五萬箇カラアル、サウシテ急設申込、當月ノ九日マデニ申込ンダ數ガ二萬何千モアルト云フコトデアリマステ、之ヲ加ヘルト合計十七萬箇餘ニナルノニアリマス、ソレ以上ニ三萬箇内外ノ架設猶豫ノ分ヲ之ニ加ヘマシテ、總テ二十萬箇内外、之ヲ八年間ニ仕上ゲテ停滯ヲ一掃シテ仕舞ヒタイト云フノガ、又此案ノ主眼トスル所デアリマス、尙又遠距離ノ電話ガ増設ハ甚ダ不完全デアリ、不都合ノ狀態ニアルカラシテ、之ヲ改良スルノガ亦此案ノ主眼トスル一部デゴザイマス、是等ノコトハ八箇年ニ亘リテスル仕事デアルカラシテ、一年度ニ分ケルコトハ甚ダ好マシクナイコトデアル、即チ不可分ニ之ヲ取扱ハナケレバナラヌ、不可分ニシテ之ヲ一纏メニシテ、一括シタ案ガ即チはデアルト云フ御説明デアリマシタ、是等ヲ要スルニ社會ノ電話ニ對スル需要ト要求ニ應ジマシテ、社會活動ノ爲ニ便スルト云フコトト共ニ、又當事者トシテ機械其他聯絡統一ヲ執ルベキ所ハ之ヲ執リ、諸般ノ改善ヲシタイト云フ一大計畫デアル、又公債計畫ト申シマス側カラ論ジマスルト、一般會計ヨリ何故此資金ヲ供給シナイノデアルカ、中ミ一般會計ノ負擔シテ居ル所ノモノハ多岐ニ亘リマシテ、此電話事業ニ對ハ之ヲ執リ、諸般ノ改善ヲシタイト云フ一大計畫デアル、又公債計畫ト申シテ資金ヲ供給スルコトハ甚ダ困難ナコトデアルノミナラズ、一般會計其モノニハ成ルベク充實シタ力ヲ保存シテ置イテ、國家必要ノ事柄ニ對シテ、或程度マデ資金ヲ出スコトノ出來ルヤウナ狀態ニ始終保存シテ置キタイ、デアルカラシテ此案ニ對シテ、此事業ニ對シテ資金ヲ公債ニ求メタイト云フコトハ、實ニ穩當ナコトデアル、況ヤ電話事業ノ如キハ收益多クシテ決シテ此償還其他ノコトニ付テ心配ラスルト云フコトハナイト云フコトデアリマシタ、サウシテ此首尾ヲ通ジテ八箇年ニ亘リタ電話計畫ノ大事業デアル以上ハ、此財源ヲ公債ニスルコトハ尙更差支ナイト思フ、又社會的狀態、現在ハ勿論ノコトデアリマスガ、將來八箇年ニ亘リマシテモ、此公債募集ヲ行ツタ爲ニ財政上カラ見テモ、經濟上カラ見テモ、惡イ影響ヲ受ケルヤウナコトハアルマイ、

斯ウ云フノデアリマス、ソコデ色ニ審議ノ結果委員會ニ於キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り之ヲ可決イタシマシタノデアリマス

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

併ナガラ此可決スルト同時ニ二條ノ希望ヲ添ヘテ居リマスカラ、唯今之ヲ申上ゲテ置キマス、希望ト致シマシテ、「第一、此電話公債ハ有期年限ノ公債トシ、利率五歩以内、据置年限超過ノ後ニ於テ、減債基金以外ニ相當ナル償還ノ計畫ヲ立テラレムコトヲ望ム」ト云フコトト、又「電話加入申込ニ對シ架設ヲ履行スルト同時ニ其制度ヲ改良シ、尙ホ諸種ノ方法ヲ講ジテ速ニ度數制ノ實行ト一般ノ改善ヲ期セラレムコトヲ望ム」ト此二箇條ノ希望ヲ添ヘテ可決シタ次第ゴザイマス、滿場ノ諸君ニ於テモ、ドウジ此理由並ニ希望ヲ以チマシテ、御賛同アラムコトヲ望ミマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 別ニ御發言ガナイト認メマスカラ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 過半數ト認メマス

○伯爵寺島誠一郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ動議イタシマス

○伯爵太原重朝君 賛成

〔其他〕贊成」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 寺島伯爵ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第二讀會ヲ開キ、全部ヲ問題ニ供シマス、

……委員長ノ報告通リ、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵寺島誠一郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトノ動議ヲ提出イタシマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵牧野忠篤君 賛成  
○副議長(侯爵黒田長成君) 寺島伯爵ノ直チニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議通り  
○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス  
○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ動議イタシマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ動議イタシマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第五、第六、第七ノ諸案ハ一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシ、議題ニ供シテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス、第五、東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第六、京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第七、學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ル件ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

○副議長(侯爵黒田長成君) 東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十一日

右特別委員長

侯爵德川 賴倫

貴族院議長公爵德川家達殿

京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十一日

右特別委員長

侯爵德川 賴倫

貴族院議長公爵徳川家達殿

學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ル件ニ關スル法律

○伯爵萬里小路通房君 唯今ノ讀會省略ノ動議ニ賛成イタシマス

○伯爵大原重朝君 賛成

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

○伯爵松浦厚君 賛成

○子爵野村益三君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○石井省一郎君 賛成

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十一日

右特別委員長

侯爵徳川 賴倫

○山脇玄君 賛成

○平山成信君 賛成

○子爵五辻治仲君 賛成

○副議長(侯爵黒田長成君) 賛成

○侯爵徳川 賴倫君 唯今議題ニナリマシタル、日程ノ第五、第六、第七ノ議案ニ付キマシテノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル九日並ニ十一日ノ兩日ニ開キマシタ、第一ニ日程ノ第五ノ議案ニ付キマシテ御報告申上ゲマスガ、本案ハ別ニ議論ハゴザイマセヌ、質問ハ數ゴザイマシタノデゴザイマス、其質問ノ中ニ本案ノ法文中ニ初メニ「時局ニ關シ」ト云フ字句ガゴザイマスニ對シテハ、此文ノ末ニ「當分ノ内毎年度各金一萬五千圓」ト云フコトガゴザイマスニ付キマシテ、此當分ト云フ意味ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタ、ソコデ政府委員ニ數、質問ヲ致シマシタ上ニ、尙ホ文部大臣ノ出席ヲ促シマシテ、此「當分ノ内」ト云フ意味ニ付キマシテ御尋ね致シマシタノデゴザイマス、文部大臣ヨリ此質問ニ對シマシテノ御答辯ニハ、此工科ノ擴張ハ大正八年度ニ完成スルノデアルカラ、若シ大正八年度ニ至リマシテ尙ホ繼續シテ費用ヲ要スル場合ニハ、是ガ兩大學ノ特別會計法ノ第二條ノ點ニ付テハ尙ホ整理ヲスル積リデアル、此場合ニハ一括シテ整理ヲスルノデアルト云フコトヲ言明サレマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ其答辯ヲ得マシテ、全會一致ヲ以チマシテ可決ヲ致シタノデアリマス、日程第六ノ方ハ是又質問ハゴザイマシタガ、何等ノ議論モゴザイマセズ、全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、日程第七ノ案ニ付キマシテモ質問ハ數ゴザイマシタガ、一ノ議論モゴザイマセズ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタノデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス、此三案ハ唯今申上ゲマス通り、極ク簡單明瞭ナモノデアリマスカラ、幸ヒ委員會ノ決議ニ御賛同ヲ得マスレバ讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔侯爵徳川 賴倫君演壇ニ登ル〕

○侯爵徳川 賴倫君 唯今議題ニナリマシタル、日程ノ第五、第六、第七ノ議案ニ付キマシテノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル九日並ニ十一日ノ兩日ニ開キマシタ、第一ニ日程ノ第五ノ議案ニ付キマシテ御報告申上ゲマスガ、本案ハ別ニ議論ハゴザイマセヌ、質問ハ數ゴザイマシタノデゴザイマス、其質問ノ中ニ本案ノ法文中ニ初メニ「時局ニ關シ」ト云フ字句ガゴザイマスニ付キマシテ、此當分ト云フ意味ニ付キマシテ質問ガゴザイマシタ、ソコデ政府委員ニ數、質問ヲ致シマシタ上ニ、尙ホ文部大臣ノ出席ヲ促シマシテ、此「當分ノ内」ト云フ意味ニ付キマシテ御尋ね致シマシタノデゴザイマス、文部大臣ヨリ此質問ニ對シマシテノ御答辯ニハ、此工科ノ擴張ハ大正八年度ニ完成スルノデアルカラ、若シ大正八年度ニ至リマシテ尙ホ繼續シテ費用ヲ要スル場合ニハ、是ガ兩大學ノ特別會計法ノ第二條ノ點ニ付テハ尙ホ整理ヲスル積リデアル、此場合ニハ一括シテ整理ヲスルノデアルト云フコトヲ言明サレマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ其答辯ヲ得マシテ、全會一致ヲ以チマシテ可決ヲ致シタノデアリマス、日程第六ノ方ハ是又質問ハゴザイマシタガ、何等ノ議論モゴザイマセズ、全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、日程第七ノ案ニ付キマシテモ質問ハ數ゴザイマシタガ、一ノ議論モゴザイマセズ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタノデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス、此三案ハ唯今申上ゲマス通り、極ク簡單明瞭ナモノデアリマスカラ、幸ヒ委員會ノ決議ニ御賛同ヲ得マスレバ讀會省略ヲ以テ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

起立者 多數

○副議長(侯爵黒田長成君) 三分ノ二以上ト認メマス、三案トモ特別委員長ノ報告通リデ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 議事日程第八、農業倉庫業法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

農業倉庫業法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十一日

右特別委員長

伯爵奥平 昌恭

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔磯部四郎君演壇ニ登ル〕

○磯部四郎君 本案ニ付キマシテ、委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、本案ニ付キマシテハ既ニ農商務大臣ヨリ此議場ニ於テ倉庫創立ノ必要ナル理由ヲ説カレマシタ上ニ於テ、尙ホ本月九日ノ委員會ニ於キマシテ詳シ

ク中農以下ノ農民ノ爲ニハ此倉庫ノ設立ハ最モ必要デアルト云フ理由ヲ御述ベニナリマシタ、ソレハ總論トシテ御述ベニナツタ其上ニ尙又道家政府委員ヨリシテ詳シク逐條ニ就テノ理由ノ御説明ガゴザイマシタ、其間ニ於キマシテ農商務大臣ノ總論トモ心得ベキ理由ノ御説明ニ依リマスト、餘ホド堅實ナル倉庫ヲ御設立ノヤウニ承ハリマシテゴザイマスガ、道家政府委員ノ御説明ニ依リマスト、補助スル所ノ金員モ莫大デナク、殆ド簡易ナル即チ倉庫ヲ設立セラル如ク承ハリマシテ、チヨット其點ニ於テハ委員會ニ於テモ大臣ガ述べタル所ト、道家政府委員ガ述ベラレタ所ト、チヨット違タヤウニ伺ヒマシタガ、能ミ考ヘテ見マスルト、堅實デアルト云フ言葉ヲ屢々農商務大臣ヨリ御繰返シニナリマシタ、是ハ倉庫ノ堅實ト言ハムヨリモ保管ノ仕事ノ堅實ヲ最モ主トシテ述ベラレテ、所謂農民保護ノ主義ノ、其點ヲ舉ゲラレタヤウニ考ヘマシタ、果シテ政府委員ト農商務大臣ト、理由ノ御説明ノ點ニ於テハ相矛盾シタ所ガ無キカニ考ヘマシタ、ソレヨリ致シマシテ尙ホ引續キマシテ、

九日ニ委員會ガゴザイマシテ、其際ニ於ケル大體ノ趣旨ノ質問ガゴザイマシタガ、最モ主ナル所ヲ一二點ヲ舉ゲマスルト、此本案ニ關シマスル倉庫ハ所謂中農以下ノ農民ノ仕事ヲ助ケルト云フ趣旨ニ出タモノデアルカラ、營利的デハナイト謂フ所カラ、

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

從ツテ本案ノ第十四條ニ於テハ所得稅ヲ課セズ、又營業稅モ取ラナイ、サウシテ成ルベク中農以下ノ農民ノ仕事ヲ助ケルト云フ趣意カラシテ、此三條ノ如キ主トシテ營利ノ目的トスル仕事デナイト謂フ趣意ヲ明ニシテアリマスガ、此點ニ於テ委員會ニ於キマシテハ、是迄種々ノ倉庫事業モアルガ、其倉庫設立ノ上ニ農民ヲ保護セラルルノハ至極御尤デハアルケレドモ、之ガ爲ニ普通ノ倉庫業者ニ打擊ヲ加ヘルコトノ憂ガアルマイカト云フ質問ニ對シマシテ、政府委員ヨリハ、ソレハサウ云フコトハナイ積リデアル、斯ウ云フ御答デゴザイマシタカラシテ、若シ此事柄ニ付テ普通ノ倉庫業ヲ害サルル如キ事情ガ現ハレ來ツタトキハ、又更ニ政府ニ於テ一考セラルルコトト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一つハ第十條ニ於キマシテ、苟モ此米穀ト云フヤウナモノヲ保管スルト云フ事柄ハ時間ノ問題ニ餘ホド關係ヲ有ツ、若シ此保管中ニ腐敗等ヲ致スコトガアツタナラバ、商業界ニ屢々行ハル換價方法ナドモ行ハレルコトガアラウカト云フコトヲ伺ヒマシタガ、實際ニ於テハサウ云フコトハナカ

ラウト思フト、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、先ヅ是等ハ將來ノ問題デアリマスカラ、委員會ニ於テモ將來發生シタ所ヲ見ナケレバ斷言ハ出來ヌモノデアルカラ、先ヅソレデ措キマシタ、其外尙ホ東郷男爵ヨリシテ、是ハ十一日ノ委員會ニ於テ臺灣或ハ沖繩等ニ於ケル所ノ砂糖關係ニ付テノ保護、注意、將來人物選擇等色々ノ對照關係ヲ御述ベニナリマシタガ、是ハ質問デモナク、原案ニ反對スル譯デモナク、唯政府ノ御参考ヲ煩ハスト云フコトニ付テ御述ベニナリマシタモノデアリマスカラ、ソレハ即チ速記録ニ附記シテ置クコトニ止メマシタ、要スルニ九日十一日ノ此二回ノ委員會ニ於キマシテ詳細ニ審議調査ヲ盡サレマシタ結果、原案ニ贊成ノコトニ決議イタシタ次第デアリマス、何卒此事ニ付キマシテハ、ドウカ委員會ノ決議ニ御贊成アラムコトヲ偏ニ希望イタシマス、此段御報告ニ及ビマス

〔山脇玄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 山脇君ハ御質問デスカ

○山脇玄君 ハイ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○山脇玄君 唯今委員長ノ御報告ヲ承ハリマシタガ、此何デマカ、米價騰貴ニ付キマシテ中流以下ニ居ルモノハ困難ニ逢ッテ居ルコトハ世上一般ノ問題デゴザイマスガ、此案ヲ御審議ニナル際ニ米價調節等ノ關係ガ御問題ニナツタコトハナイデセウカ

○磯部四郎君 米價調節問題ハ委員會ノ議題ニハ上ボリマセヌデゴザイマスガ、併シ農商務大臣ヨリ本案ノ理由説明ノ上ニ於テハ總テ米價等ニ付テハ不平均ノナイヤウニ、且又一個人ノ仕事ヲ共同體ノ仕事トシテ、依ッテ以テ其仕事ヲ爲シ得ルト云フ趣意ヲ農商務大臣カラ希望ニナツタ譯デアリマス、是ハ速記録ニ明カデアラウト思ヒマス

○山脇玄君 其際ニ農商務大臣ガ、此際ニ何カ米價ノ調節ヲスル方法ヲ採ルト云フヤウナ御計畫ヲ御話シニナツタコトハナイデセウカ  
○磯部四郎君 特ニ米價調節問題トシテ、サウ云フコトハ御述ベニナラナカッタカト記憶イタシテ居リマスガ、併シ此速記録ニ依ツテ見マシテモ、又御述ベニナツタ所、私ノ記憶ニ存シテ居ル所ヲ喚起シマシテモ、此米價ノ如キハ屢々農民ヲ困ラセルコトガアル、又今日マデハ總テ融通資本トシテ外國ニ於テハ不動産ハ重キヲ爲シテ居ル、ソレデハ所詮農民ノ發達ヲ期スルコトハ出來ナイ

カラ、成ルベク動産物ノ保管又調整ノ方法ヲ嚴重ニ致シ、サウシテ之ヲモ亦金

融資本ニ供スルヤウナ方法ガナカラネバナラヌ、從ツテ米價ノ如キモ追々亂高

下ハ防ギタイト云フコトヲ十分ニ御述べニナッテ居リマスカラ、此案デハ直チ

ニ米價調節均一ニ付テ御議論ガナカツタト考ヘマス、此上ニ御不審ノ點ガゴザ

イマスレバ、モウ私トシテハ殆ド門外漢デアリマスカラ、國務大臣ニ御質問

アラムコトヲ願ヒマス

○鈴木摠兵衛君 政府委員ニ質問ヲ致シマス、此本案ガ實際ニ行バレマシタ  
上、之ニ多少ノ毎年利益ガアルトスレバ、其利益金ト云フモノハ元來ガ公益  
ヲ主トスルモノデアッテ、決シテ營利的デナイモノデアル以上ハ、之ヲ分配ス  
ルト云フコトハナイコトト思ハレマスガ、是ハ如何ナルモノデアリマスカ、  
念ノ爲メ伺フテ置キマス

〔國務大臣仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仲小路廉君) 鈴木君ノ御質問ニ御答イタシマス、本案農業倉庫  
ハ先般モ申上ゲマシタ如ク、専ラ農民ノ爲ニ堅實ナ公益的ノ農業倉庫法ヲ施  
行シタイト存ジマス故ニ、其目的ト致シマス所ハ全ク公益ニ在リマス、營利  
ハ目的ト致シマセヌノデアリマス、從ツテ是等ノ點ハ業務規定ニ於テソレ  
ノ規定ヲ立テマシテ、能ク其公益事業ニ適フ趣意ヲ以テ實行イタス積リデア  
リマス、左様ニ御了承ヲ願ヒマス

○鈴木摠兵衛君 御答辯ハマダ要領ヲ得テ居ラヌ、私共ノ伺タ趣意ハ、若シ  
此倉庫業者ニ利益金ガアッタトキニ最後ニ之ヲ分配スルカセヌカト云フコト  
ガ聞キタイ

〔國務大臣仲小路廉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仲小路廉君) 御答イタシマスガ、手數料其他ハ成ルベク之ヲ公  
益ニ適フ積リニ極ク低ク致ス積リヲ持ツテ居リマス、從ツテ單ニ利益ノ生ジタ  
場合ニ之ヲ分配イタスト云フコトハ目的ト致サヌノデアリマス、成ルベク基  
礎ノ堅實ニナルヤウニ勉メテ、是等ノコトハ先刻來屢々申シマスガ如クニ、能  
ク公益ノ目的ヲ達スル趣旨ニ適フヤウナ方法ヲ取りタイト存ジテ居リマス  
○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請  
ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○磯部四郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵東坊城徳長君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○磯部四郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵東坊城徳長君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り

○議長(公爵德川家達君) 御異存ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第九、戰時海上再保險法案、政府提出、衆議  
院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

戰時海上再保險法案、

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十二日

右特別委員長

伯爵松浦厚

殿

貴族院議長公爵德川家達殿

マス所ノ御報告ヲ致シマス、特別委員會ハ去ヌル十日ト十二日、兩日致シマシタ、政府委員ノ詳細ナル御説明ヲ承ハリマシタ、又委員會トシテモ精密ニ御質問致シマシタ、慎重審議調査ヲ致シテ參ッタ譯デアリマス、此問題ハ御承知モアリマス通リニ中々専門的ノ問題デゴザイマシテ、多岐ニ涉ッテ居リマスカラ、委シイコトハ速記錄ニゴザイマスカラ、ソレデ詳細ニ御覽ヲ願ヒタウ存ジマス、要點ニ付キマシテチヨット申上ゲマスレバ、抑、此歐洲ノ戰亂ガ勃發イタシマシタ以來、政府ニ於キマシテハ此海上ノ運輸業者及海上貿易業者ノ不安ヲ除クト云フコトヲ考ヘラレマシテ、其保護ノ爲ニ……保護ノ目的ヲ以チマシテ、大正三年九月十二日ニ戰時海上保険補償法ナルモノヲ制定サレマシテ、ソレヲ發布シ實行サル、コトニナリマシタ、然リマスニ御承知ノ通りニ其際ハ戰亂モ東洋ニハ長カラズシテ歐洲方面ニ長イダラシト云フ說デゴザイマシタケレドモ、意外ニモ此海上ノ危險ト云フモノハ東西兩球ニ跨ルヤウナコトニナリマシテ、政府ニ於キマシテハ其法案ニ述ベラレマス通リニ八割ノ補填ヲ致シテアリマシタ、戰局ノ擴大スルモノガ豫想ヨリモ多ク甚ダ遭難ガ少ニ此海上ニ於ケル所ノ船舶ノ遭難ヲスルモノガ豫想ヨリモ多ク甚ダ遭難ガ少カランニヤウナ場合デアリマス、政府ノ負擔サレタ所ノ補償金額ト云フモノモ豫想外ニ上ボッタヤウナ次第デアリマス、殆ド今日マデノ所ハ一千七百有餘萬圓ノ金額ニ上ボリマシテ、將ニ二千萬圓ニモ上ボラムトスル所ノ有様デゴザイマス、斯ノ如クニ此海上保険補償法ヲ持続サレマシテ、船舶若クハ其當業營業者ノ保護ヲサレルト云フコトニナリマシタナラバ、是カラ先キニ之ニ加ヘル所ノ國庫支辨ノ金圓ハ測リ知ルベカラザルコトデアラウト考ヘラレル次第デアリマス、付キマシテハ此際此補償法ノミヲ以テ此危險ヲ救フト云フコトハ國庫ノ上カラ考ヘマシテモ、亦遭難者ノ保護ヲ受ケル者カラ申シマシテモ面白カラヌコトニ考ヘマシタ以上ハ、ドウシテモ之ニ依ッテ他ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト云フコトニナリマシタノデアリマス、付キマシテハ此度政府ガ此戰時海上再保險法ト云フモノヲ以テ之ニ代ヘラレムトスルノデアリマス、此補償法ナルモノハ御存ジノ通り唯政府ガ損害ヲ補償スルノミニ止マリマシテ、少シモ政府ノ收入ト云フモノハナイノデアリマス、併ナガラ此度再保險法ト云フモノヲ作ルニ付キマシテバ、其中ニ或ハ政府ノ一面ニ於テ收入サレルト云フコトモアルノデアリマスカラ、此際ニ於テハ再保險ヲサレルト云フコトハ時宜ニ適シタコトデアラウ、サウデアリマスケレドモ政府ハ其利

益ヲ圖ルト云フノガ目的デハナイノデアリマス、即チ成ルベク國庫ノ支出ヲ減ジ航海者並ニ貿易者ノ便利ヲ圖ッテ、多クノ船舶若クハ航海業者ヲ助ケヤウト云フ趣旨ニ出ヅルノデアリマス、又第二ニハ今日迄ノ保険會社ニ於テ再保険ヲ致シテ居ルモノハ多クハ外國ノ保険會社ニ再保險ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ我國ノ正貨ト云フモノガ多ク外國ニ流出スル虞ガアルノデアリマス、然ルニ是ガ此度政府ニ於キマシテ此再保險ヲスルト云フコトニナリマス、レバ恰モ官營的仕事デアリマスカラ、此歐洲ニ正貨ガ流出スルト云フコトヲ以チマシテ、委員ハ總テ滿場一致ヲ以テ贊成ノ意ヲ表シマシテ、此政府案ニ同意シテ通過イタシタ譯デゴザイマス、茲ニ終防グコトニナリマスカラ、旁、以テ此再保險ヲサルルト云フコトノ法案ヲ提出サレタノハ實ニ時節柄最モ緊切ノコトダラウト考ヘマス、又是カラ先キノ歐洲戰亂モ御承知ノ通り、イツ迄續クカ恐ラクハ際限ナイヤウニ考ヘマス、付キマシテハ今日ニ於テ此法案ヲ此臨時議會ニ提出サレルコトハ大ニ時宜ヲ得タルモノト考ヘマス、此理由ヲ以チマシテ委員ハ總テ滿場一致ヲ以テ贊成ノ意ヲ表シマシテ、此政府案ニ同意シテ通過イタシタ譯デゴザイマス、茲ニ終ヒニ於キマシテ一委員ノ希望ガゴザイマスカラ是ハ特ニ申上ゲテ置キタイトタルモノト考ヘマス、此本案ニ依リマスト種々命令ヲ以テ之ヲ定ムト云フヤウナコトガ重モニ書イテゴザイマシテ、本案ノ外ニ省令ヲ以テ定メル點ガ澤山ゴザイマス、付キマシテハ一委員ハ御心配デアリマスシ、旁、以テ此希望ヲ加ヘテ此案ヲ通過シタイト云フコトデゴザイマス、其御希望ノ點ハ法律ヲ以チマシテ定メテ居リマスコトヲ勅令ニ委任スルハ格別デゴザイマスケレドモ、之ヲ省令ヲ以テ動カシ得ルヤウニスルノハ甚ダ穩當ヲ顧ク、サウナイヤウニ希望スルコトガナイヤウニ、將來ニ於テ是ガ先例ニナラヌヤウニシテ貴ヒタイト云フケレドモ、併ナガラ本案ハ戰時ノ場合ニ於テ出テ居ル所ノ法律デアルカラ、且ツ今日ハ會期切迫ノ際デモアルカラ贊成ヲ致スケレドモ、今後ハ斯ノ如キコトガナイヤウニ、將來ニ於テ是ガ先例ニナラヌヤウニシテ貴ヒタイト云フ所ノ希望ヲ以テ此案ヲ通過シタイト云フコトデゴザイマス、ドウゾ滿場ノ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵松浦厚君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵中川興長君 贊成

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス……是デ第二讀會ハ了リマシタ

○伯爵松浦厚君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○男爵中川興長君 贊成

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り

○議長（公爵徳川家達君）御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）日程第十、造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

造船獎勵金下付停止ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十二日

## 右特別委員長

伯爵吉井幸藏

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵徳川家達殿  
○伯爵吉井幸藏君 此法案ニ付キマシテ特別委員會ノ結果ヲ御報告イタシマス、造船獎勵法ハ明治二十九年ニ初メテ制定ニナリマシテ、其後一度改正モ

アリマシタガ今日マデ行ハレテ來タノデアリマス、其間造船工業上ニ於キマシテ中々效果ヲ見タノデアリマス、併シ尙ホ各國ノ造船業ト較ベマスルト、誠ニ微々タルモノデアツタノデアリマス、然ルニ此戰亂ニ際シマシテ大ニ俄ニ非常ニ繁忙ニナリマシテ、戰前十箇年ノ平均ガ一箇年三萬五千噸位ノ製造中及計畫中ノモノガ百九十艘ペカリアリマシテ、其噸數ハ十五萬、斯ノ如キ次第ニアリマシテ、誠ニ造船界ハ非常ナ狀態デアリマス、ソレデ此狀態デ進メバ造船獎勵ノ費用モ中々多額ニナル譯デアリマスルシ、且ツ此狀態ガ持続スル間ハ造船獎勵金ヲ與ヘナクトモ、造船業ノ發達ヲ阻礙スルヤウナ憂ハ少シモナイ狀態ニアリマス、ソレデ右様ナ次第デアリマスルカラ、今後補助金ヲ下付ラスル高ガ非常ニ増加シマシテ、國庫ノ負擔ガ非常ニ重クナルノデアリマスルカラ、此二ツノ理由ニ依リマシテ、此一時補助金ヲ停止スルト云フ法案ヲ出サレタコトデアリマス、委員會ニ於キマシテハ造船業ノコトニ付キマシテモ、ソレカラ法文ノ意義ニ付キマシテモ殊ニ澤山ナ質問ガアリマシタ、併ナガラソレハ一々政府ノ辯明ヲ徵シマシテ、結局本案ヲ可決スベキモノナリト決議イタシマシタ譯デアリマス、此段御報告申シマス

○議長（公爵徳川家達君）本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（公爵徳川家達君）過半數ト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵本多忠敬君 贊成

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○子爵本多忠敬君 贊成

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ  
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り  
御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第十一、東洋拓殖株式會社法中改正法律案、  
政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

東洋拓殖株式會社法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正六年七月十二日

右特別委員長  
伯爵正親町實正

貴族院議長公爵徳川家達殿  
「伯爵正親町實正君演壇ニ登ル」

○伯爵正親町實正君 本案ノ委員會ニ於キマスル經過並結果ニ付テ御報告申上ゲマス、本委員會ハ昨日一同開キマシテ、午前ヨリ午後ニ至リマシテ慎重ニ審議ヲ盡シマシタ、本案ニ付キマシテハ大藏大臣ヨリ本議場ニ於キマシテハ逐條ニ至ルテ詳細ノ御説明ガゴザイマシタガ、尙ホ委員會ニ於キマシテハ逐條ニ至ルテ詳細ノ説明ヲ承ハリマシタ、ソレニ對シテ種々質問モゴザリマシタガ、結局全會一致ヲ以テ之ガ可決ヲ致シタ次第ゴザイマス、ソコデ本案ノ改正ヲ要スルチ韓國併合以前ニ於キマシテ日韓兩國共同ノ事業ト致シマシテ、韓國ニ於テ土地ヲ所有シテ拓殖移民ヲ致シテ、主トシテ農業ヲ營ムト云フ會社デゴザイマス、傍ラ拓殖資金ノ供給モ致ス目的デゴザイマス、然ルニ韓國ハ其後併合シマスモノハ今日ニ於テハ多大ノ進歩ヲ來シマシタ、尙ホ獨リ朝鮮ノミナラ

ズ、滿蒙ニ於キマスル經濟狀態モ段々進歩ヲ來シマシテ、今日デハ朝鮮ト殆ド區別ナイト云フヤウナ狀態ニナツテ參ッタノデゴザイマス、而シテ經濟狀態ノミナラズ、又此移民事業ニ於キマシテモ段々我國ニ於キマシテモ獎勵ヲサレマシテ、獨リ朝鮮ノミナラズ、南洋南米邊ニモ段々進歩ヲ來シマス、而ニ角其マス、併ナガラ是トテモ今日デハ兎ニ角資金充實ヲ観キマス爲ニ、兎ニ角其事業モ遅々トシテ進マヌト云フヤウナ有様デゴザイマス、今申上ゲマシタ通り朝鮮ニ於キマスル農業狀態ニ於キマシテモ、今日ハ拓殖移民ト云フヨリモ寧ロ拓殖上ノ資金ノ供給ト云フコトガ最モ焦眉ノ急ニナツテ居リマス次第デアリマス、ソコデ是等ノ闕陥ヲ補ヒマス爲ニハ、此東洋拓殖株式會社ノ法ヲ改正イタシマシテ、サウシテ此會社ヲシテ是等ノ闕點ニ當ラシムルノガ最モ得策ナ案デアラウト云フ所カラシテ、此會社法ノ改正ヲ促シタ次第デアリマス、加之此會社ハ韓國併合ニ付キマシテハ當然ノ結果トシテ段々改正ノ必要モゴザイマスガ、加フルニ茲ニサウ云フ狀態ニナツテ參リマシタガ爲ニ、此度ハ此會社法ニ於キマシテ根本的改正ヲ加ヘテ、元ハ今申上ゲマシタ如ク拓殖移民デ農業ヲ主眼トシテ起シタ會社デアリマスルケレドモ、今日サウ云フ場合ニ立至リマシタ爲ニ此度ハ經濟狀態ヲ救濟スル爲ニ、拓殖資金ヲ供給スルコトヲ主タル目的トシ、尙ホ拓殖移民モ之ニ次デ營ムト云フコトニナツタノデアリマス、ソコデ現行法ハ第一條ニハ朝鮮ニ於テ拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社云々ト云フコトガゴザイマスルガ、ソレヲ改正イタシマシテ、改正案ハ東洋拓殖株式會社ハ朝鮮及外國ニ於ケル拓殖資金ノ供給其他ノ拓殖事業ノ經營ヲ目的トスルト云フコトニナリマシテ、根本ノ此目的ガ變ツテ參ッタ次第デゴザイマス、其他ノ要點ヲ申上ゲレマスバ、之ニ依リマシテ營業状態方針モ自ラ變ツテ來ル譯デアリマス、ソレ故改正ノ第十一條ニハ第一、拓殖ノ爲ニ必要ナル資金ノ供給ト云フコトヲ第一ニ加ヘマシタノデゴザイマス、ソレデ申シ落シマシタガ、第一條ノ外國ト云フコトデアリマシテ、前ニ申上ゲマシタヤウナ獨リ朝鮮ノミナラズ滿蒙地方ニハ此度ハ大ニ手ヲ伸シテ、其ケレドモ、主トシテハ此滿蒙ヲ指シタ意味デゴザイマス、ソコデ今ノ營業方針ノ中ニモ第一ニ拓殖ノ爲メ必要ナル資金ノ供給ト云フコトニナリ、ソレカラ次ニ拓殖移民ト云フコトニ段々移ツテ參ッテ現行法トハ主客顛倒シタ經畫ニ

ナツタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ其次ニ此資金供給ノ方法ニ依リマシテ  
段々第十三條ノ箇條ガゴザイマスルガ、其第六項ニ於キマシテ移民取扱業其  
他拓殖事業ヲヤルコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債權ノ應募、引受ケト云  
フコトガアリマス、是ハ前申上ゲマシタ如ク南米若クハ南洋ノ方ノ移民ヲ營  
ム所ノ會社ガ段々ゴザイマスルガ、兎角資金ノ供給ヲ缺キマス爲ニ、甚ダ事  
業ノ發展モ來サヌト云フヤウナ譯デゴザイマスカラ、是等ノ會社ニ對シテ、會  
此東洋拓殖會社ハ資金ノ供給ヲ致シ、其會社ノ株券又ハ債權ノ應募ヲ引受ケ  
マス、又或ハ其個人ニ對シテハ直接ニハ致シマセヌガ、其會社ヲ通ジテ、會  
社ガ責任ヲ以テ、其資金ヲ定期償還ノ法ヲ設ケテ、其資金ヲ融通シテヤル、  
斯ウ云フヤウナコトニナリマシタ、ソコデ今ノ資金供給ト云フコトガ主ニナ  
リマシタル爲ニ、長期ノ貸付ナドニ於キマシテ、債券等ノ發行モゴザイマス  
ルガ、短期ノ貸金ナドノ爲ニ茲ニ第十三條ノ二ヲ置キマシテ、定期預リノ途  
ヲ此所デ開キマシタ、ソレカラ右ノヤウナ次第デゴザイマスルカラ、最モ資  
金ノ潤澤ヲ必要トスルノデゴザイマス、然ルニ朝鮮ニ於キマシテハ此農事ノ  
金融機關ト致シマシテハ、現今ニ於テハ農工銀行ガ六ツ程ゴザイマス、其下  
ニ信用組合ガ二百何十箇所アリマシテ、小サナ金融機關ハ是デ今日ハ致シテ  
居ル、併ナガラ是ダケデハ誠ニ小サナモノデアリマスルカラ、十分ナコトハ  
出來マセヌ、所デソレニ對スル親銀行ト云フモノガ今日マダゴザイマセヌカ  
ラ、ソレデ今度此東洋拓殖會社ヲシテ、日本勸業銀行ノ代理店ト云フコトニ  
致シマシテ、是ガソレ等ノ金融機關ノ親銀行ト云フヤウナコトヲ致スノデア  
リマス、ソレガ第二十條ノニナリマス、之ニ對シテ或ル委員カラ質問ガゴ  
ザイマシタガ……サウ云フヤウニセズ、イッソ日本勸業銀行ガ直接ニ朝鮮ノ方  
ヘモ資金ノ供給ヲシタラドウカト云フ質問モゴザイマシタガ、之ニ對スル政  
府委員ノ答ニハ、成程ソレモ出來ヌコトハナカラウ、併ナガラソレヨリモ東  
洋拓殖會社ニサセタ方ガ便利デアラウ、斯ウ云フコトカラ拓殖會社ニヤラ  
セルコトニ致シタノデアル、ソレカラモウ一ツノ重モナル點ハ此東洋拓殖會  
社ニ對シマシテハ、一年三十萬圓ヅヽノ補助ガゴザリマシタ、ソレハ八箇年  
ノ期限デアリマシタノデ、是ハ一年ノ暮ニ此期限ハモウ經過シタノデ、此  
度ノ改正案ニ於キマシテモ、矢張リ右ノヤウナ事業ノ發展モシマスルコトデ

アルカラ、尙ホ多少ノ補助ハ必要ダラウト云フコトデ、併シ此度ハ直接補助  
ハ致シマセヌガ、其代リ是マデ政府ノ持株ニ對シテ配當ヲ致シテ居ッタ、ソレ  
ヲ今後八年間ハ配當ヲ止メル、併ナガラ一般ノ配當ガ年八分ニナルダケニ超  
過イタシマシタナラバ、其超過額ダケハ政府ノ配當ニ差向ケル、ソレモ總テ  
ガ八分ニ達シマシタナラバ、其殘餘ハ一般ノ株主ニ配當スル、斯ウ云フ規定  
ニナツテ居リマス、其他數箇所ノ修正ハゴザイマスルガ、是ハ自然ノ結果若ク  
ハ其他會社ノ整理等ノ上ニ付テノコトデ、クダ――シク申上グルダケノ必要  
ハナイト考ヘマスノデ、ソレハ省キマス、要スルニ此度ノ改正ノ主要ナル點  
ハ今申上ゲマシタ點デゴザリマス、併シ之ニ對シマシテ衆議院ノ多少ノ修正  
ガゴザリマス、併ナガラ此修正タルヤ、此原案ノ意味ニハ少シモ違ヒマセヌ、  
ノミナラズ寧ロ此意味ヲシテ正確ナラシメント云フヤウナ譯デアリマスガ爲  
ニ、是モ別段政府ニ於テモ異議ナイ之ニ同意サレタ次第デゴザリマス、ソレ  
ニヤウナ次第デゴザリマスデ、質問ハ之ニ對シテ種々ゴザイマシタ、其  
中ニ或ハスノ如キ根本的ノ改正ヲ來シテ全ク別ノ姿ノヤウニナル譯デアルナ  
レバ寧ロ此改正案ハ止メテ、新ニ一ノサウ云フ目的ノ會社ヲ拵ヘタラドウダ  
ト云フヤウナ質問モゴザイマシタ、ソレニ對シテハ成程ソレモ宜イカモ知ラ  
ヌガ、併ナガラ必シモ全ク違ッタト云フ譯デハナイ、目的ハ少シモ違ハヌ、矢  
張リ拓殖移民ノ業務モ營ムコトデアルシ、唯資金ノ供給ト云フ事業ニ於テ、  
此度大ニ擴張ヲ致シタニ止マッテ、事業ノ性質トシテハ是マデト少シモ違ハヌ  
ノデアル、加之更ニ新ニ銀行ヲ起シタ所デ新設ノ銀行ト云フモノハ兩三年ノ  
間ハ満足ノ結果ヲ得ル譯ニハ往カナイ、然ルニ一時資金ノ供給ガ焦眉ノ急ニ  
迫リテ居ルコトデアルカラ、寧ロ慣レタ所ノ東洋拓殖會社ニヤラセレバ、モウ  
明日カラ直グニ活動ヲ始メルコトガ出來ルカラ、此場合大ニ此方ガ便利トナ  
ルト考ヘル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソコデ討議ニ移リマシタガ、モウ何等  
ノ異議モナク、本案ハ寔ニ時勢ニ適當シタ所ノ案ト認メルニ依ッテ贊成イタス  
ト云フコトデ、他ニ何等ノ修正モナク、全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デ  
アリマス、此段御報告申上ゲマス

○黒岡帶刀君 委員長ニ質問イタシタウゴザイマス、此第一條ニ「朝鮮及外  
國ニ於ケル」ト云フコトガアリマスガ、此外國ノ中ニハ旅順、大連等ノ九十  
九箇年ノ租借地モ矢張リ外國ノ中ニ籠ッテ居リマセウカ、又ハ外國ト云フノハ  
重モニ日本政府カラ領事ヲ置ク所ノ場所ダケヲ指シテ言フノデアリマスカ、

委員ニ於テハ其邊ノ御審議ハナカッタデアリマセウカ、チヨット分リマセヌガ

…

○伯爵正親町實正君 チヨット今ノ御尋ハ十分分リ兼ネマシテゴザイマスガ、チヨット今ノ御尋ハ十分分リ兼ネマシテゴザイマスガ、勿此外國ト申シマスノハ、先刻申上ゲマシタ通り、主トシテ滿蒙ヲ指スノデゴザイマス、ソレカラ尙ホ其他ニハ南洋南米アタリモ含ンデ居ルノデアリマス

○黒岡帶刀君 繢イテモウ少シ伺ヒマスガ…

○伯爵正親町實正君 恐レ入リマスガ、モウ少シ大キナ聲デ願ヒマス

○黒岡帶刀君 滿蒙ト申セバ滿洲ノ中ニハ租借地モアレバ鐵道附屬地モアリ、又支那ノ管轄ノ下ニアル處モアルノデスガ、皆混合シテ…

○伯爵正親町實正君 マアサウナルト考ヘマスガ、精シイコトハドウカ政府委員ニ御尋ネラ願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 チヨット委員長ニ御尋ネ致シマスルガ、此東洋拓殖會社ハ何ヲ目的トシテ造ツタカト云ヘバ、朝鮮人、日本人彼我同化ト云フコトヲ主タル目的トシテ創立セラレ、ソレガ爲ニ補助金ヲ與ヘラレタノガ拓殖會社ノ趣意デアッタ考ヘマス、此度ノ改正ニ依ルト全ク會社ノ性質ガ變更セラレテ、同化ト云フ根本問題ハ消エテシマッタカノ如ク見エマスルデスガ、是ハ政府ニ於テハ矢張リ同化ノ事柄ハ努メテヤラセル積リナノデスカ、マルデ創立ノ時ト今度ノ改正案トハ、肝腎ノ目的ノ同化ト云フコトニ付テノ考慮ヲ闕イテ居ルヤウニ考ヘマス、之ニ付テハ委員會ニ於テハ如何ナル審議ヲセラレテ、政府カラ如何ナル辯明ガゴザイマシタカ、伺ヅテ置キマス

○伯爵正親町實正君 別ニ今ノ御尋ネニ對シマスル直接ノ質問モ委員會デハ別ニゴザイマセヌガ、併ナガラ矢張リ元ノ目的タル拓殖移民ト云フコトモヤリマシテ、無論同化ニモ努メテ往ク譯デアラウト考ヘマスノデ、ソレハ唯仕事ガ元ハ、ソレガ主デアッタノガ、一般ノ經濟狀態ノ關係カラ今度ハ資金ノ供給ト云フコトヲ大ニ發展シテ、手ヲ擴げテヤルト云フコトニ事業ガ少シ變ツタノデアッテ、大體ノ東洋拓殖會社ノ仕事ト云フモノハ、矢張リ是マデト餘リ目的ガ變ラヌデアラウト思ヒマス、尙ホ精シイコトハドウカ政府委員ニ御尋ネラ願ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 此同化ト云フコトハ…日本人、朝鮮人彼我互ニ同化シテ、益々帝國ノ基礎ヲ固クスルト云フコトハ甚ダ必要ナコトト考ヘラレマス、其點ニ付テ唯今委員長ノ御報告ハ甚ダ不十分ノヤウニ考ヘマスガ、政府ノ辯

明ヲ請ヒマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今阪谷男爵ヨリシテ御尋デゴザイマスルガ、勿論御尋ネノ如クニデス、此東洋拓殖會社ノ設立ノ趣旨ノ中ニハ日韓兩國ノ同化ト云フ意味ハアルダラウト思フノデアリマス、併シ左様ナコトガアルトシテ之ヲ如何ナル方法ニ於テヤルカト申シマスレバ、從來ノ法律ノ規定ニ依リ

マシテモ御承知ノ如クニ、東洋拓殖會社ナルモノハ、先づ第一ニ移民ヲスル、第二ニ拓殖ニ關スル所ノ金融ヲ致ス、其他ニ土地或ハ山林等ノ經營ヲ致スト

云フヤウナ事柄ノ仕事ヲヤル會社デアリマシテ、此等ノ仕事ノ遂行ニ依テ始メテ此日鮮ノ同化トカ云フヤウナコトノ效果ガ生ジテ來ル譯デゴザイマス、ソレデ今回ノ改正ニ依リマスルト、朝鮮ニ於キマシテハ、從來此會社ガ如何ニ致シテ居ツタカト申シマスレバ、要シマスルニ其資本ノ大半ヲ主トシテ此土地經營ノ方ニ投下ヲ致シマシテ、即チ全體ニ於テ二千三百萬圓バカリ投下シテ居リマスル中ノ千四百萬或ハ五百萬ト云フモノガ土地經營ニ放資シテ居ルノデアリマス、此事必シモ惡イト云フコトデハアリマセヌガ、併ナガラ此朝鮮ニ於キマスル土地經營ト云フモノニ、今日ノ事情トシテハ、資力ヲ注グト云フコトハ最早今日マデヤツタ所ノ程度デ適當デハアルマイカ、又移民ト云フコトニ付キマシテモ、從來東洋拓殖會社ガ熱心ニ此事ヲヤッテ參リマシタガ、最初ノ豫期ノ如クハ移民ガ參リマセヌノデ、併シ此事モ此法律ノ改正ニ依ツテ停止シタト云フ譯デハゴザイマセヌノデ、矢張リ移民ノ出來得ル所ニハ移民ヲスルノデアリマス、即チ自ラ管理シテ居リマスル所ノ其土地ニ於テ、移民ヲ容レル餘地ガアレバ移民ヲ入レント云フコトヲ致スノデアリマス、併ナガラ一面ニ於キマシテ御承知ノ通リニ、朝鮮ニ於テ今日金融ノ上ニ關係イタシマシテ何ガ一番缺點デ不足シテ居ルカト申シマスレバ、要シマスルニ此拓殖資金ノ供給ト云フコトヲ大ニ發展シテ、手ヲ擴げテヤルト云フコトニ事業ガ少シ變ツタノデアッテ、大體ノ東洋拓殖會社ノ仕事ト云フモノハ、矢張リ是マデト餘リ目的ガ變ラヌデアラウト思ヒマス、尙ホ精シイコトハドウカ政府委員ニ御尋ネラ願ヒマス

一面ニ商業銀行ノ兼營ヲ致シテ居ルト云フヤウナコトデアリマスノデ、所謂拓殖資金、今日内地デ申セバ勸業銀行或ハ農工銀行ノ放資スルガ如キ、其資金ニ於テモヤダノ融通ガ十分ニ立ツテ居ラヌノデアリマス、ソレデ是マデ東洋拓殖會社ガ此點ニ付テドノ位ノ効ヲシテ居リマスカト云フト、誠ニ微々タ

ルモノニアリマスノデ、ソレデ此缺點ヲ補フ爲ニ東洋拓殖會社ニ於テ成ルベク左様ナル資金ヲ朝鮮ニ供給シテ、謂ハユル農工銀行ト聯絡ヲ取り、又一面ニ於テハ日本勸業銀行ト聯絡ヲ取ッテ、左様ナ資金ヲ供給シテ、以テ朝鮮ノ開發ヲ圖ルト云フヤウナコトニ重キヲ置ク次第アリマス、即チ從來アリマシタルコトト、其ヤリマスル業務ト云フモノノ上ニ於キマシテハ大差ハゴザイマセヌノデ、唯其主要トスル所ノ點ニ付キマシテ此時局ノ上ニ於テ、又朝鮮ノ實地ニ鑑ミマシテ、適當ナル入レ換ヲ致シタト云フコトニ過ギナイノデゴザイマスルノデ、從ツテデス、唯今阪谷男爵カラ御尋ニナリマシタ所ノ日韓同化ト云フヤウナコト……今日ハ日韓ト云フノハ惡ウゴザイマスガ、朝鮮ト日本トノ同化ト云フヤウナ事柄ハ、是等ノ業務ガ十分ニ進ンデ行キマスルナラバ、即チ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマスルノデ、御心配相成ツテ居リマスルヤウナ事柄ハ此法律ノ改正ニ依ツテ何等ノ變動ヲ來サヌノミナラズ、寧ロ進ンデ御心配ニナツテ居ルヤウナ點ニ付キマシテ改善ヲ加ヘテ行クモノト信ジテ居ル次第ゴザイマス

○阪本彰之助君 此法律案ノ第一條デアリマスルガ、總裁及理事ノ任期ノコトデアリマスガ、現行法デハ總裁モ理事モ同任期ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此改正案デハ總裁ガ五年デ理事ガ四年トナツテ居リマスガ、故ラニ一年相違ヲ附ケラレマシタノハドウ云フ譯デアリマセウカ、本員等ノ考デハ總裁ガ寧ソ無任期ナラバ格別、任期ヲ定メル以上ハ理事ト同一任期ノ方ガ……同ジ場合ニ於テ新タナル人ガ選ペレルナラバ、矢張リ同任期デ改マッタ方ガ宜カリサウニ思ハレマス、此法律ガ實施サレマスルト最初ノ更迭ノ時ニ既ニ一年達フ、二回目ノ時ニハ二年達フ、三回目ニハ三年達フト云フコトニナルト、理事ト總裁トガ丁度任期ガ半ベ、若クハ四分ノ三十カ、四トカ云フマウナ振合ニナツテ……アトノ一年ガ新ラシイト云フヤウナコトニナリマシテ、甚ダ妙ナモノニナルト思フノデアリマスガ、是ガ却ツテ幾ラカ味ヒガアルノカ分リマセスガ、本員等ガ考ヘマスルト何故斯様ナコトニ相違ヲ御付ケニナツタモノデアルカ、甚ダ怪シムノデアリマス、是ハ委員長デモ政府委員デモ宜シウゴザイマスガ、一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（勝田主計君） 唯今ノ阪本君ノ御尋ニ御答イタシマスルガ、此改正ハ左様ニ實ハ重大ナル改正デハアリマセヌノデ、唯政府ノ見マスル所ハ

ク左様ナル資金ヲ朝鮮ニ供給シテ、謂ハユル農工銀行ト聯絡ヲ取り、又一面ニ於テハ日本勸業銀行ト聯絡ヲ取ッテ、左様ナ資金ヲ供給シテ、以テ朝鮮ノ開發ヲ圖ルト云フヤウナコトニ重キヲ置ク次第アリマス、即チ從來アリマシタルコトト、其ヤリマスル業務ト云フモノノ上ニ於キマシテハ大差ハゴザイマセヌノデ、唯其主要トスル所ノ點ニ付キマシテ此時局ノ上ニ於テ、又朝鮮ノ實地ニ鑑ミマシテ、適當ナル入レ換ヲ致シタト云フコトニ過ギナイノデゴザイマスルノデ、從ツテデス、唯今阪谷男爵カラ御尋ニナリマシタ所ノ日韓同化ト云フヤウナコト……今日ハ日韓ト云フノハ惡ウゴザイマスガ、朝鮮ト日本トノ同化ト云フヤウナ事柄ハ、是等ノ業務ガ十分ニ進ンデ行キマスルナラバ、即チ其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマスルノデ、御心配相成ツテ居リマスルヤウナ事柄ハ此法律ノ改正ニ依ツテ何等ノ變動ヲ來サヌノミナラズ、寧ロ進ンデ御心配ニナツテ居ルヤウナ點ニ付キマシテ改善ヲ加ヘテ行クモノト信ジテ居ル次第ゴザイマス

○議長（公爵徳川家達君） 仁尾君ニ御注意イタシマスガ、モウ少シ御聲ヲ大キクナスッタ方ガ便利ダラウト存ジマス

○仁屋惟茂君 朝鮮並ニ外國ニ對スルト云フ御説明ニ付キマシテハ、外國ト云フノハ滿蒙ノ意味デアル、斯ウ云フコトヲ委員長ヨリモ御説明ガゴザイマシタ、滿蒙ニ金融機關ノ必要ナルコト、又大ニ之ヲ努メナクテハナラナイト云フコトハ、從來カラモアッタコトデアリマシテ此度東洋拓殖會社ノ規定ニ致シタインハドウモ是デハ不十分デハナイカ、果シテ是デ滿蒙金融ノ機關ヲ云フモノガ足リルモノト御認ミニナツテ御提出ニナツタノデアリマスカ、又是ハ滿蒙金融機關ニ伴フ一ツノモノデアル、決シテ是デ足レリトハ致シテ居ラヌ、他日完全ナル所ノ資本モアリ計畫モアル所ノ十分ナル機關ヲ御設備ニナルト云フ御積リデアリマセウカ、デ斯ク私ガ質問イタシマスノハ何デアルカト申シマスト、拓殖銀行ノ此度ノ改正ハ、即チ將來ニ業務ニ於キマシテハドウシテモ滿蒙ノ金融機關（聽取シ難シ）釣合ハナイモノデハナイカト感ジマス、デ、拓殖會社ノ方ハ朝鮮ト云フ實ニ重大ナ業務、即チ任務ヲ負ウテ居リマスカラ、先刻大藏大臣ノ説明サレタ通り勸業銀行、農工銀行（聽取シ難シ）十分拓殖ノ事業ヲ圖ラウト云フノデ十分ナル力ヲ入レナクチャアナラヌ、即チ此拓殖銀行ハ朝鮮ノ業務ト云フ非常ナ意味ヲ有ツテ居ルノデ、サウシテ滿蒙ノコトハドウデアルカト云フト、ヨリ以上ノ重大ナ任務ガアル、ソレヲ朝鮮銀行ガ重大ナル業務ヲ有ツテ居ル其傍ラ仕事デ出來ルト云フ御見込デアリマスカ、他日是ハ十分ナル機關ヲ拵ヘルト云フ思召デアルナラバ、ソレデ宜シ

ウゴザイマスガ、唯今ノ拓殖銀行ガ單ニ一部ノ仕事トシテ滿蒙ニ手ヲ出スト云フコトノミデハ不十分ナリト考ヘマスルガ如何ノモノデゴザイマスカ、其事ヲ伺ヒマス

## 〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今仁尾サンカラ御尋デゴザイマスガ、仁尾サンカラノ御尋ハ私ニハ少シ明瞭ヲ観キマシタノデアリマス、滿蒙ニ於ケル所ノ金融機關ニハ是デハ不十分デハナイカト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、滿蒙ニ於ケル金融ノ中デモデス、此東洋拓殖會社ノヤルベキ如キ所ノ金融ニ付テハ不十分デハナイカト云フ御話ガアリマシタカノヤウニ承ハリマシタ所ヘ又後ニ朝鮮銀行ガ云々ト云フ御話ガアリマスカラシテ、サウ致シマスト、仁尾サンノ御尋ハ滿蒙ニ於ケル此各種ノ金融機關ハ不備デハナイカト云フ仰セデゴザイマスルカ、或ハ此東洋拓殖會社ノヤルベキ如キ金融ニ付テノ御尋デゴザイマスカ、其點ガチヨット不明デゴザイマスカラ、甚ダ失禮デゴザイマスガ

チヨット……

○仁尾惟茂君 東洋拓殖會社ノ爲スペギコトハアレノミデハ不十分デハナイカ、斯ウ云フノデス

○國務大臣(勝田主計君) 将來ノコトハ茲ニ斷言ハ出來マセヌガ、滿蒙ニ於キマシテ業務ヲ致シマスルト申シマスルノハ、申スマデモナク大體ニ於キマシテ此不動産ヲ擔保トスルヤウナ所ノ金融ヲ致シマスノデアリマス、デ此金融ニ付キマシテハ東洋拓殖會社ガ之ヲ經營イタスト云フコトガ最モ便宜デアリマス、デ其所以ハ既ニ申上ゲマシタ如クニ不動産ヲ擔保トシテ貸付ヲ致シマスル其金融機關ノ一番心配ヲ致シマス一番危險ト致シマス所ハ、不動産ノ如キモノノ流レ込ミトカ、或ハ是ノ貸倒レノ出來タ際ニ如何ニスルカト云フ是ガ問題デゴザイマス、併ナガラ東洋拓殖會社ハ御承知ノ如クニ一面金融モヤリマスルシ、一面ニ又此土地ノ經營ト云フコトヲヤリマスカラシテ、其危険ト云フモノガデス、其他ノ金融バカリ致シマスモノカラ較ベテ見マスト、餘ホド便宜ガ多イノデアリマス、此危險ヲ避クル便宜ガ多イト云フコトガゴザイマスノト、ソレカラ左様ナ次第デ東洋拓殖會社ト云フモノヲシテ滿蒙ニ於テ業務ヲ行ハシムル上ニ於キマシテ是デ足ラヌカト申シマスト、御承知ノ通リニ東洋拓殖會社ハ今日資本ガ千萬圓デアリマスルガ、債券ヲ一億發行スルコトガ出來ル權能ヲ有ッテ居ル會社デゴザイマスルノデ、是等ノ資金ニ依リ

マシテハ滿蒙ニ於テ不動產ノ金融ヲ致スト云フコトハ當分差支ナイト云フ見込ヲ有ッテ居リマス、併ナガラ將來ニ於キマシテ、尙ホ是デ足ラヌト云フヤウナコトデアリマスレバ、或ハ東洋拓殖會社ノ資本ヲ増加スルト云フコトモ必要ニナルカモ知レマセヌ、併ナガラ今日並ニ此近キ將來ニ於キマシテ東洋拓殖會社ガ滿蒙ニ於キマシテ不動產ノ金融ヲ致スト云フ上ニ於キマシテ東洋拓殖會社ガ滿蒙ニ於キマシテ不動產ノ金融ヲ致スト云フヤウナ考ハ政府ハ有ッテ居ラヌノデアリマス、是デ十分ナリト信ジテ居ル次第デアリマスガ、併シ若シ遠キ將來ニ於テ左様ナコトガ起リマスレバ、或ハ東洋拓殖會社ノ唯今申上ゲマシタ如ク增资ヲ致ストカ、或ハ特別ノ機關ガ要ルト云フコトデアリマスレバ特別ノ機關ヲ置クト云フコトニナリマセウガ、ソレハ今日ヨリ斷定ヲ致シマスノハ甚ダ困難デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス  
○仁尾惟茂君 モウ一ツ御尋イタシマス、此保護ニ關スルコトハ是ハ別ニ保護金ヲ(聽取シ難シ)政府ノ株ニ對シテ配當ヲ受ケナイ(聽取シ難シ)ドウモ私ガ考ヘマスノニ、朝鮮内ノ仕事デアレバ或ハ是位ノコトデ足リヤウト思ヒマセラレル意味デヤリマスナラバ、是ハドノ位ノ貸付ニナリマスカ、ドノ位ノ高ニナリマスルカ、是等ノ所モ豫メ推定ニ過ギナイノデアリマス、若シ株ニ對スル所ノ配當ヲシマシテ以テ朝鮮ノ事業及滿蒙ノ固定ノ貸付マデヤルコトナラバ、甚ダ不十分ノモノニ依ツテ、法ノ趣意ヲ徹底セナイモノニナリハシマイカ、果シテ(聽取リ難シ)是デ滿蒙ノ如キ所ノ固定資本ニ對スル貸付ノ利子ハ六朱ニ廻ラナカッタ時ニハ六朱マデ保護ヲヤルトカ、其貸付ダケ(聽取シ難シ)今ノ配當金ヲ唯是限リ(聽取シ難シ)何分ニモ私ハ此法ノ趣意ガ滿蒙ニ於テ釣合ハナイヤウニ思ヒマスカラ、一應……

## 〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(勝田主計君) 唯今仁尾サンニ於カレマシテハ此會社ノ業務ヲ遂行イタシテ往キマスル上ニ於テ保護ガ微弱ニシテ、或ハ其目的ヲ達スルコトガ出来ヌトカ云フコトヲ御親切ニ御心配下サルト云フコトハ誠ニ感謝ヲ致次第デゴザイマス、併ナガラ政府ヨリ考ヘマスルト、成ルベク此保護ヲ少クシテ仕事ガ出来レバ之ニ越シタコトハナイノデアリマス、サウ致シマシテ、東洋拓殖會社ノ此法律ニ依リマスル所ノ保護ハ御話ノ如クニ政府ノ株ノ配當ニ對スル所ノ免除デアリマシテ、假ニ政府ノ株ガ三百萬圓ト致シマスレバ、

六分デ十八萬圓ダケノ保護ニナッテ居リマスガ、又一面ニ東洋拓殖會社ハ既定ノ保護ト致シマシテハ、其債券ヲ外國ニ於テ發行スル場合ハ、政府ガ四千萬圓ヲ限リ之ヲ保證スルコトヲ得ルト云フノガ既ニアルノデアリマス、左様ナコトモアリマスカラシテ、先ヅ此位ノ……或ハ仁尾サンガ御覽ニナレバ低級ノ保證カモ知レマセヌガ……保護デ以テ十分勉強シテ仕事ヲ遂行セシムルト云フコトニ致シマシタ次第ゴザイマス

トニ付キマシテハ、政府ニ於テハ十分其希望ヲ有ツテ居リマスト同時ニ、又此保護ノ濫ニ流レナイヤウニト云フコトニ付テハ慎重ナル注意ヲ拂ヒマシテ左様ニ決メマシタ次第ゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵正親町實正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵今城定政君 賛成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、第二讀會決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ贊成イタシマスガ、先刻ノ大藏大臣ノ説明ニ依レバ同化ト云フコトハ十分此度ノ改正ニ於テモ努メルト云フ 御趣意デアッタヤウデアリマスガ、既ニ法律ヲ以テ營業範圍ヲ朝鮮以外ニ擴メテ、種々ナル新タル事業ヲ會社ニ加ヘテ、性質ヲ變更シタ以上ハ、同化ト云フ最モ大切ナルコトニ會社ガ注意ヲ怠ルト云フコトハ免レヌデアラウト思ヒマス、其邊ニ付テハ十分政府ノ御注意ヲ希望イタシマシテ本案ニ贊成イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 全部同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

貴族院議長公爵徳川家達殿  
〔侯爵大炊御門幾麿君演壇ニ登ル〕

右特別委員長  
侯爵大炊御門幾麿

○侯爵大炊御門幾麿君 唯今議題ニナリマシタル蠶絲業法中改正法律案委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、本委員會ハ一昨十一日開會ヲ致シマシテ、農商務大臣其他政府委員カラ詳細ナル所ノ説明ヲ承ハリマシタ、慎重審議ヲ遂ゲマシタガ、要スルニ本案ノ要旨ト致シマス所ハ四箇條程デゴザイマス、ソレハ蠶種ノ検査方法ヲ改メ、主トシテ原蠶種ニ重キヲ置クコト、又外國蠶種ノ輸入ヲ自由ニ致シマシテ品種ノ改良ニ資スルコト、ソレカラ桑病ノ取締、蠶種類ノ検査ニ關スル法令ヲ發シ得ルノ規定ヲ加ヘマス、強制的に行フ蠶種ノ検査ニ關シテハ是ガ手數料ヲ徵收シナイト云フコト、是等ガ其主ナルモノデアリマス、是等ノ事柄ハ蠶絲業ノ現狀ニ鑑ミ國家生産ノ上ニ於キマシテ、何レモ誠ニ時宜ニ適シタ改正デアルト認メマシテ、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ次第ゴザイマス、此段ヲ御報告イ

タシマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵徳川家達君） 過半數ト認メマス

○侯爵大炊御門幾麿君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 贊成

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第二讀會ヲ開イテ全部ヲ問題ニ供シマス：

…全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○侯爵大炊御門幾麿君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 贊成

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第十三、所得稅法中改正法律案、衆議院提出第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ本日モ省略イタシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

所得稅法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

大正六年七月十一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長大岡育造

所得稅法中改正法律案  
所得稅法中左ノ通改正ス

第五十條第二項中「大正七年分」ヲ「大正十二年分」ニ改ム  
○男爵目賀田種太郎君 本員ハ政府ニ質問イタシタイノデアリマスガ、此案ニ付テ政府ハ衆議院ニ於テ同意ヲ表セラレタノデゴザイマスカ、又ハ表セラレヌノデゴザイマスカ、若シ同意セラレタト云フ場合ニ於テハ稅法ノ施行ニ依ツテ、凡ソドノ位徵收セラル、見込デアリマスカ

〔國務大臣勝田主計君演壇ニ登ル〕  
○國務大臣（勝田主計君） 唯今ノ目賀田男爵ノ御尋ネニ御答イタシマス、政府ハ此案ニ付キマシテハ、衆議院ニ於テ同意ヲ表シマセナシダノデアリマス、其趣旨ヲ申上ゲマスト、御承知ノ通リ沖繩ヘ施行シマスル所ノ所得稅法ハ大正二年ニ既ニ施行スペカリシモノヲ五箇年延期ヲ致シマシタノデアリマスカラシテ、大之ヲ今回五箇年延期ヲ致シテ吳レト云フヤウナ趣意デアリマスカラシテ、大體稅法ノ制度ノ上カラ行キマシテ、餘リ除外例ヲ作り、延期ニ延期ヲ重ネルト云フコトハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌコトト存ジマシテ不贊成ヲ表シマシタガ、併ナガラ又一面ニ於キマシテハ沖繩ノ事情ヲ能ク考ヘマスト、誠ニマダ產業ノ發展其他ノ上ニ於キマシテ微々ト致シテ居リマス結果ト致シマシテハ又別途ノ方法ヲ以チマシテ、即チ低利資金ノ供給ヲスルトカ云フヤウナ方法ヲ以チマシテ之ヲ救濟イタシタイト云フ政府ニ於キマシテハ考ヲ有テ居リマス、又唯今日賀田男爵ノ御尋ニナリマシタ若シ此稅法ヲ施行イタシマスルト致シマスレバドレ程ノ詰リ稅額ガアルカト云フコトデアリマスガ、約十萬圓ト政府ハ推算ライタシテ居リマス

○議長（公爵徳川家達君） 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス  
〔成瀬書記官朗讀〕

所得稅法中改正法律案特別委員

伯爵奥平昌恭君 子爵榎本武憲君 子爵堤雄長君  
男爵高木兼寛君 男爵杉溪言長君 石井省一郎君  
牟田口元學君 鎌田榮吉君 福島文右衛門君  
○議長(公爵徳川家達君) 明十四日ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマ  
ス、本日ハ是デ散會

午後零時二分散會

大正六年七月十三日